

コース50 うらみょうぎ もみじたに とみおかせいしじょう 裏妙義・紅葉谷と富岡製糸場

リーダー CL N/S SL E/S
 実施日 平成27年11月17日(火) 天候 曇り
 参加者 24 (男性 5 女性 19) グレード B上
 コースポイント



ポイント	到着時間	出発時間	備考
秋葉区役所前		5:55	越後川口、赤城、甘楽SAにて休憩。松井田IC9:49
裏妙義	10:05	10:17	裏妙義国民宿舎脇で準備
中木川入口	11:00	11:10	林道側入口をちょっと寄道。少しスリルのある徒渉
三方境・紅葉谷	11:52	12:00	紅葉がそよそよと揺れた景観が見事。班毎に記念写真
紅葉丘	12:10	12:50	暖かいので、コナラの雑木林で昼食。会話が弾む。
国民宿舎P	13:30	13:40	みなさんの声で表妙義へ迂回してもらう
中之嶽神社P	14:20	14:30	表妙義では岩稜の金洞山を見上げ記念撮影
富岡製糸場	15:20	16:30	世界遺産を見学。明治の近代化で生糸が世界一の品質。
秋葉区役所前	20:05		正面の東置繭所のレンガ建屋の縦柱が妙義神社の大杉

山行等概要（幹事のコメント）

- 天気は曇り、気温が23℃と10月の陽気で登山中は汗をかく程であった。
- 紅葉谷の紅葉は赤と黄葉のコラボが見事であった。光に映えれば更に素晴らしかったのに。
- ガイドブックに掲載していない山でも、見事な紅葉の山があることを知りました。
- 早めに下山をし、表妙義に迂回してもらった時はみなさん感嘆！！ホッとす。秋を満喫した。



「裏妙義・紅葉谷と富岡製糸場」に参加して

(1571) K/T

秋を満喫！裏妙義・紅葉谷

まず、最初に中木川沿いに紅葉を見ながら歩きました。広い道は落ち葉がいっぱい。絨毯の様に積もっていて、カサコソと音を楽しみ、写真を撮りながら、上って行きました。途中、川の方へ降りることになり、ちょっとした冒険気分！と言うのは、細くて急な斜面…。おっかなびっくり一歩一歩進んで下に着きほっとすると、次は沢を渡りました。石の上に足を掛けてえいっと気合を入れて無事通過です。スリルがあって楽しかったです。

三方境へ向かう入口からは、ずっと登りが続き、黄色いきれいな林の中を、紅葉を楽しみながら歩きます。風が吹くとはらはらと落ち葉が舞って「ああ、もう秋も終わりだなあ…」と感じさせられました。もちろん登山道は落ち葉がいっぱい積もっています。杉林の中では、汗だく。それでも、緑の木々の間からモミジの赤や黄色の色が見えると、「きれい！」と歓声が上がります。一番きれいな紅葉が見えた紅葉谷で記念写真を撮ってから、コナラの黄色い林の中、ふかふかの落ち葉の上でお弁当。会話もはずみ、秋を満喫した山旅になりました。



すごい迫力だった表妙義山

少し時間の余裕があったのと、リーダーさんと運転手さんのおかげで、思いもかけず、県立妙義公園駐車場まで連れて行って頂き、正面から妙義山を仰ぎ見ることができました。妙義山は安山岩質の集塊岩や溶岩が浸食されてできた奇岩・怪石の山峰で日本三大奇勝の一つです。すごい迫力で迫ってきました。感動です！また、駐車場わきに咲いていた可憐な冬桜も印象に残りました。車窓から、もう終わりに近い紅葉をたくさん見て、大満足で妙義山を後にしました。



世界遺産「富岡製糸場」の見学

「富岡製糸場」に入場してからは自由見学となり、広い敷地のたくさんの施設へとそれぞれ分かれて行きました。私は、ガイドさんに案内して頂き、40分位かけて丁寧な説明を聞きながら回りました。正面の「東置繭所」は、木で骨組みを作り、柱の間にレンガを積み上げて壁を造った、とても立派で美しい建物でした。日本の職人さんが、地元の材料を使って作ったとのこと。彼らの心意気が感じられました。製糸工場と言うと「女工哀史」が思い出され、劣悪な労働を強いられた所というイメージが強かったのですが、「富岡製糸場」の女工さんは、7時間45分勤務・日曜日はお休みで給料も高く、食事や部屋、医療費も無料という超エリート労働者だったと聞きびっくり！彼女たちは指導者として、地元に戻って活躍して日本の近代化に貢献したといえます。建物や施設も素晴らしかったですが、明治の人々の協力と熱意が感じられた「富岡製糸場」でした。



思い出に残る楽しい旅、お世話下さったリーダーや役員の方々、本当に有難う御座いました。

